

参考

「家計調査」切り花、植物の支出額 上位市・区部（2022年、総世帯）

● = 人口20～40万人程度
の地方都市が健闘

切り花

市・区部	切り花支出額 2022年（円）
堺市	12,156
静岡市	11,355
●福島市	11,240
●大津市	10,922
●徳島市	10,244
●和歌山市	10,204
●盛岡市	9,858
●高松市	9,807
京都市	9,704
鹿児島市	9,407
（中略）	
札幌市	8,617
（中略）	
大阪市	7,904
平均	7,857
東京都区部	7,525
名古屋市	7,036
福岡市	5,036

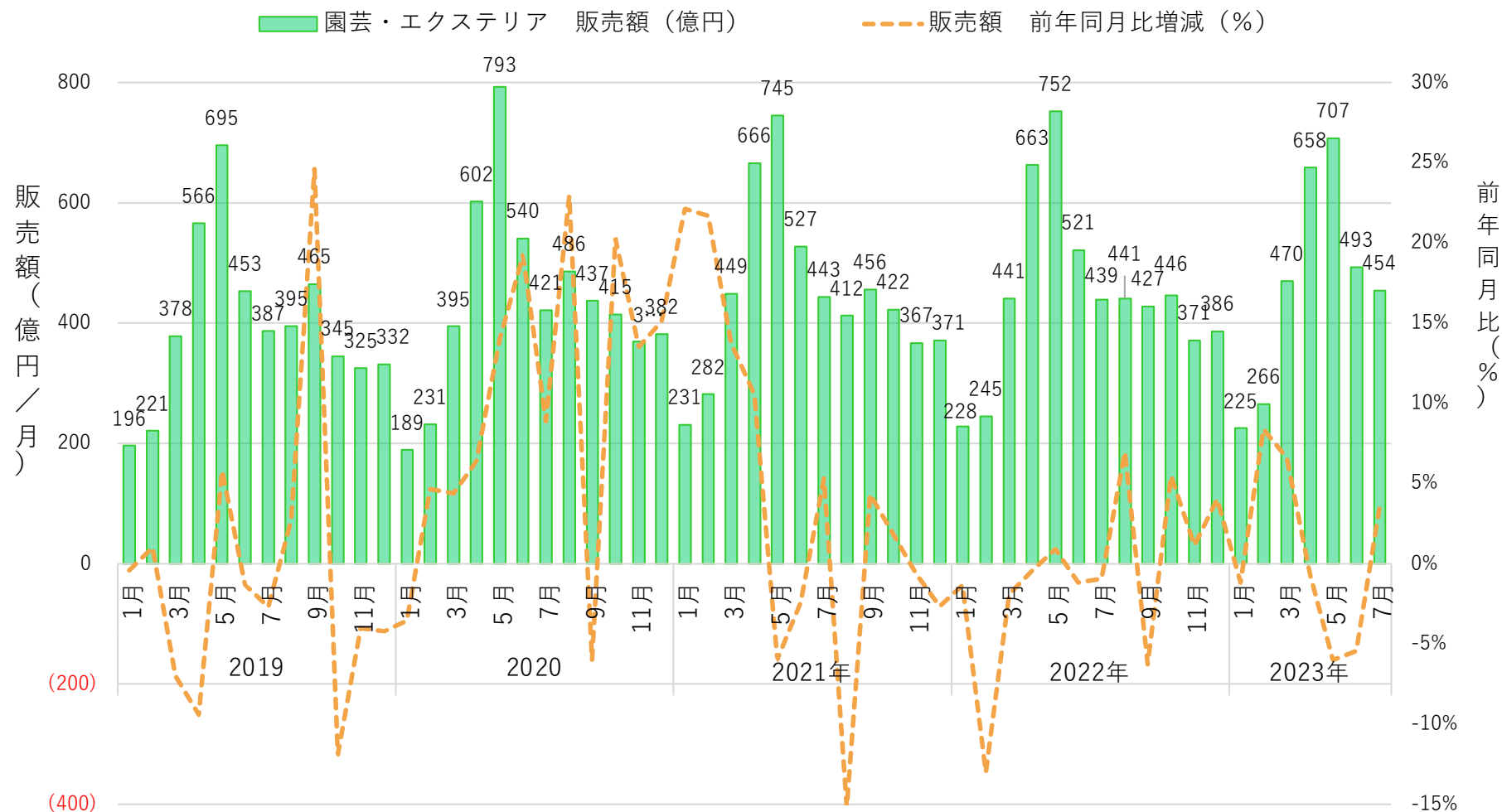
園芸用植物

市・区部	植物支出額 2022年（円）
●津市	6,891
鹿児島市	5,777
●山口市	5,314
京都市	5,274
●富山市	5,031
熊本市	4,627
●福井市	4,568
●宮崎市	4,395
堺市	4,346
松山市	4,192
（中略）	
●福島市	3,568
平均	3,476
●徳島市	3,062
札幌市	2,443
東京都区部	2,129
福岡市	2,063
大阪市	1,274

参考

「商業動態統計」 ホームセンター 園芸部門 販売額推移

ホームセンター 園芸・エクステリア部門 月次販売額 前年同月比 推移
2019年1月～2023年7月



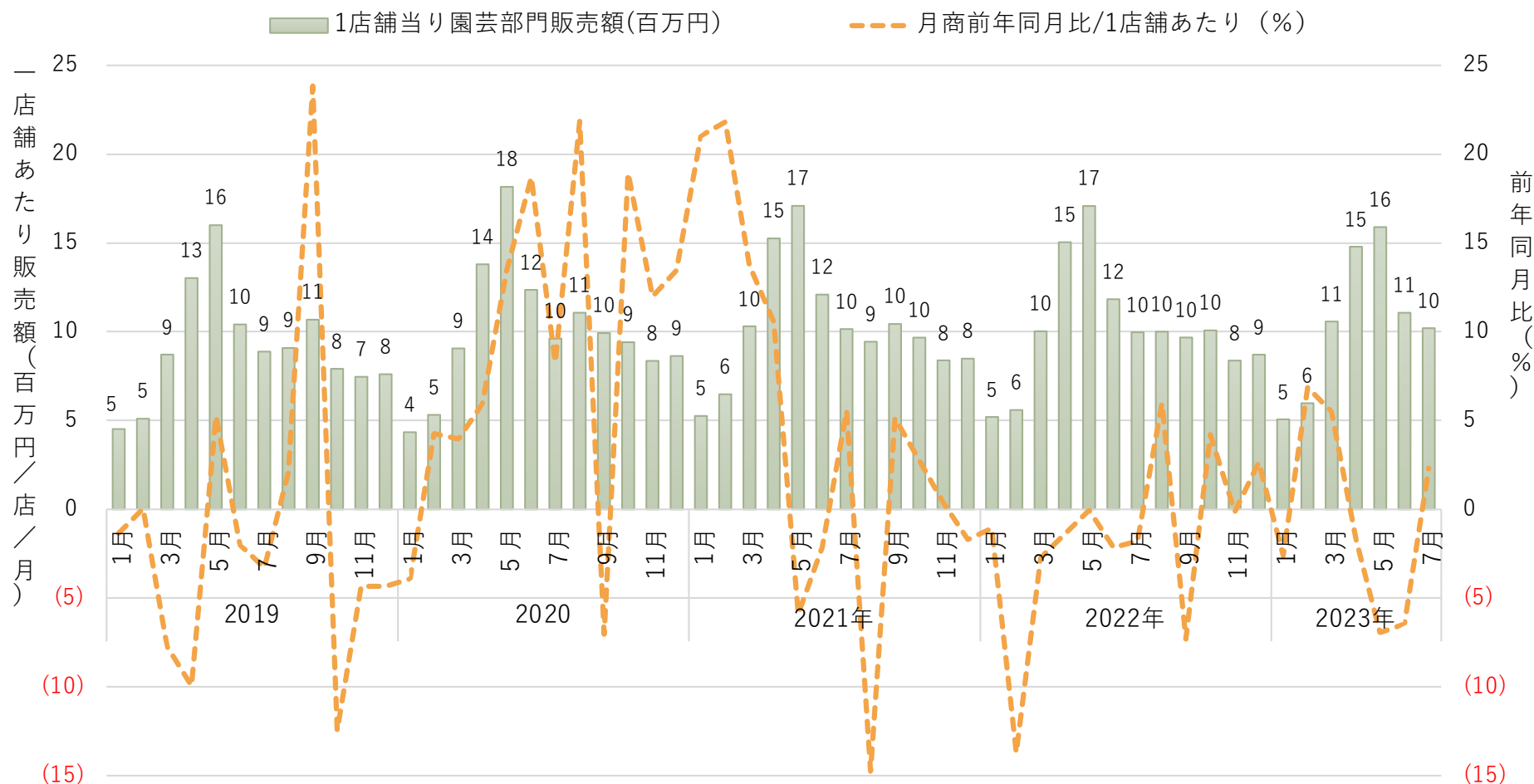
データ：経済産業省「商業動態統計月報」

図表作成：国産花き生産流通強化推進協議会（2023）「花の消費選好」（調査委託：ゲルダ・リサーチ）

参考

「商業動態統計」 ホームセンター 園芸部門 販売額推移

ホームセンター 園芸・エクステリア部門 「1店舗あたり」月次販売額、前年同月比 2019年1月～2023年7月



データ：経済産業省「商業動態統計月報」

図表作成：国産花き生産流通強化推進協議会（2023）「花の消費選好」（調査委託：ゲルダ・リサーチ）

参考

「商業動態統計」 ホームセンター 園芸部門 年間販売額

直近22年は、店舗数は増加しているが、園芸・エクステリア全体の販売額は減少

ホームセンター 園芸・エクステリア 年間販売額、店舗数、店舗当たり販売額 推移

年	園芸・エクステリア部門		店舗数		1店舗あたり 園芸・エクステリア部門 販売額	
	販売額 (億円)	前年比 (%)	店舗数 (店)	前年比 (%)	年商 (百万円)	日商 (万円)
2017	4,837	-0.9	4,304	0.7	112.4	30.8
2018	4,795	-0.9	4,346	1	110.3	30.2
2019	4,762	-0.7	4,357	0.3	109.3	29.9
2020	5,260	10.5	4,420	1.4	119.0	32.5
2021	5,373	2.1	4,377	-1	122.7	33.5
2022	5,361	-0.2	4,437	1.4	120.8	33.1

注：2020年はうるう年

データ：経済産業省「商業動態統計月報」

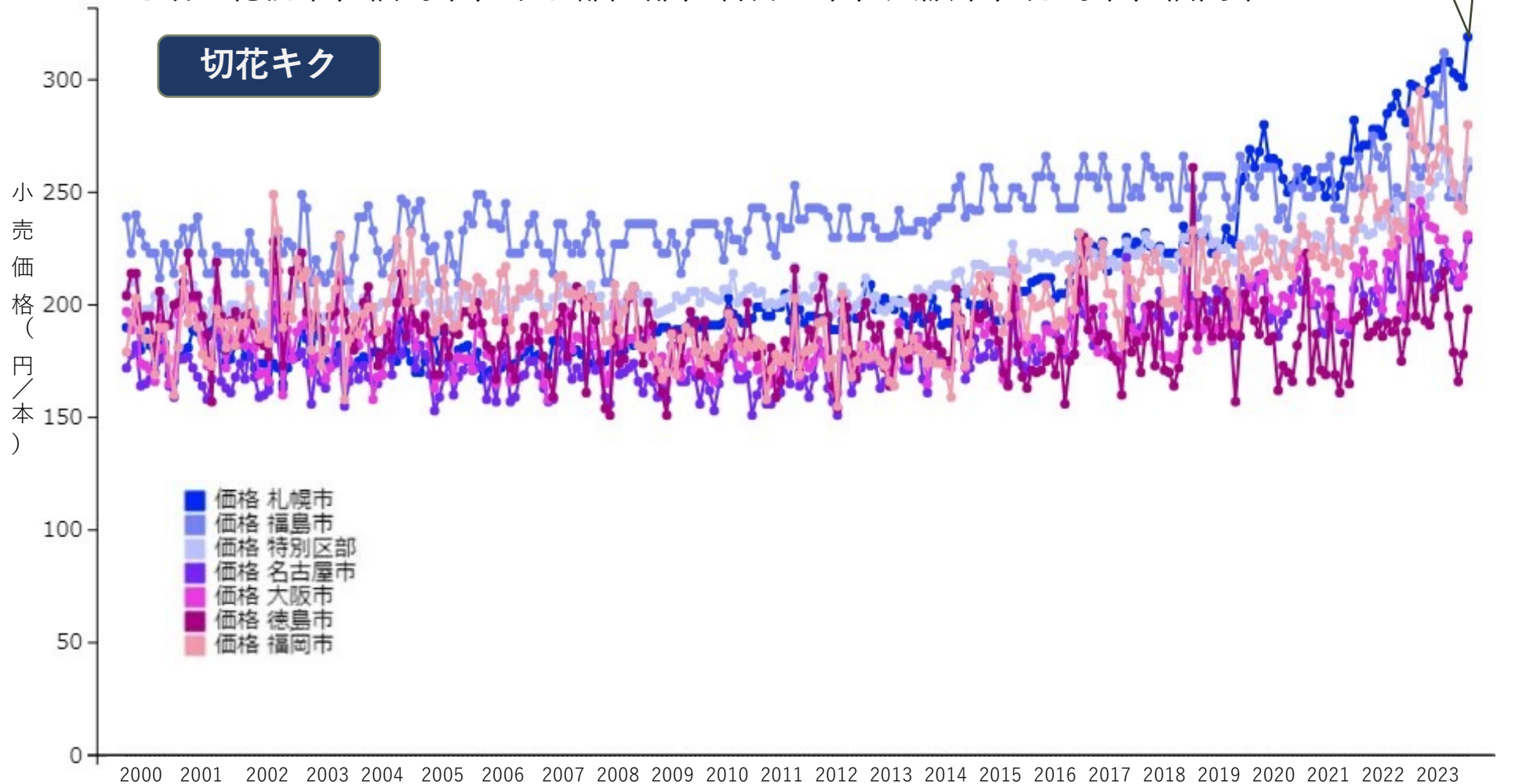
表作成：国産花き生産流通強化推進協議会（2023）「花の消費選好」（調査委託：ゲルダ・リサーチ）

小売価格推移（月次） 2000年以来の推移 全般に上昇しているが、東京都区部や大阪に比べて、他の地方の変動が激しい？

参考

切花 キク 小売価格 2000年1月～2023年8月

地域：札幌市、福島市、東京都区部、名古屋市、大阪市、徳島市、福岡市



銘柄：切花 キク（1本、直径5～10cm）

注：調査店舗は、各調査地区内で、調査品目ごとに販売数量又は従業者規模等の大きい店舗の順に、価格取集数に応じた店舗を調査店舗として選定ランダムサンプリングに基づく統計的的代表性のある値ではないことに注意。銘柄規格の規定は随時変更あり（他の銘柄も同様）

単位：円／本

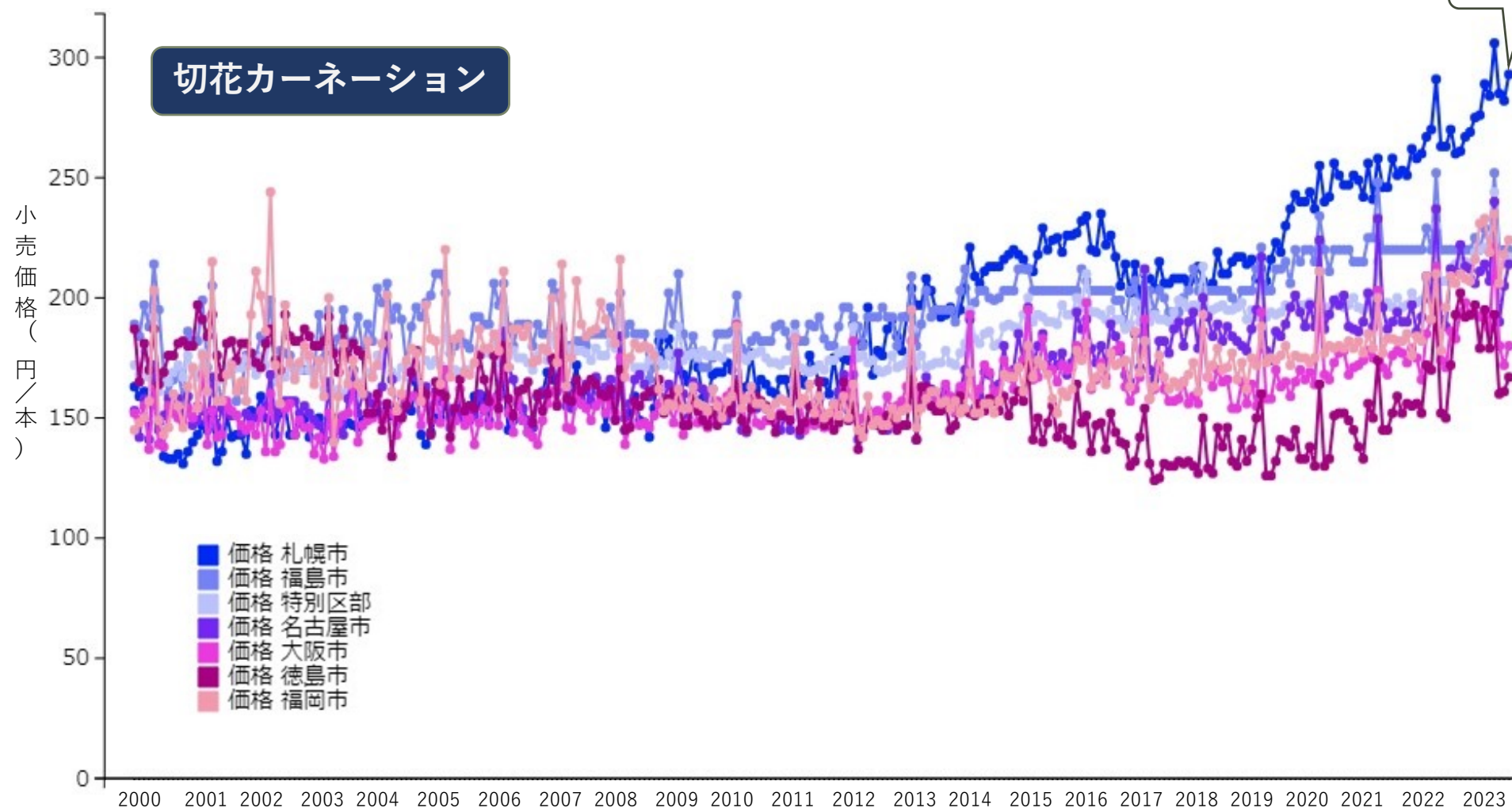
出典：総務省「小売物価動向調査」より作成

切花 カーネーション 小売価格 2000年1月～2023年8月

地域：札幌市、福島市、東京都区部、名古屋市、大阪市、徳島市、福岡市

参考

2023年
8月



銘柄：切花 カーネーション (1本、白を除く)

単位：円/本

出典：総務省「小売物価動向調査」より作成